

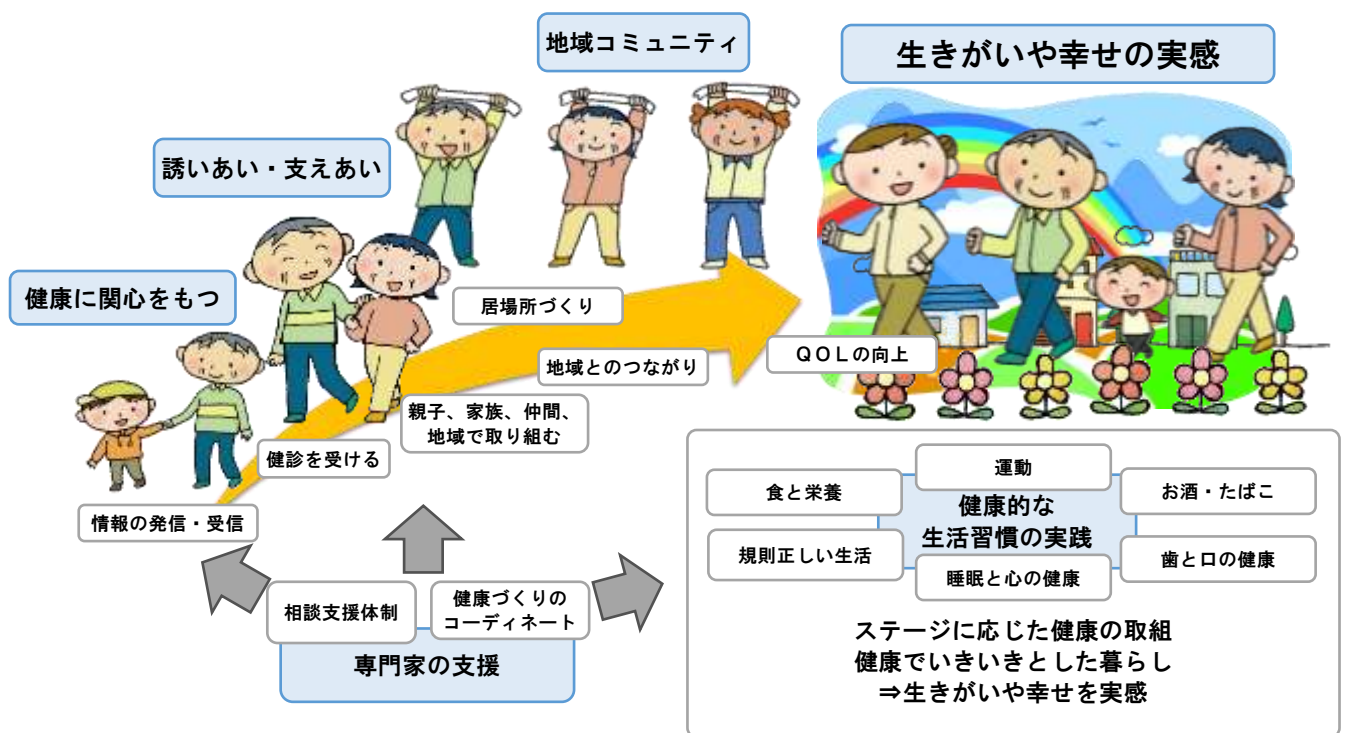
第3章 計画の基本的考え方

1 基本理念

「いつまでも健康で長生きしたい」という市民の誰もが思う願いを実現できるように、前計画では「生きがいや幸せが実感できる健康寿命・平均寿命の延伸」を掲げて計画を推進しました。平均寿命が延びている今日、最後まで自分らしく幸せに生きるためには、健康でいられる期間をなるべく長くし、介護が必要な期間を減らす必要があります。今回、「健康でいきいきと暮らせるまちとは」をテーマにしたラベルワークから導きだされた健康づくりに必要な要素の 카테고리として、「人との関わり」「QOL（生活の質の向上）」等が挙がっており、生きがいや幸せ等の生活の質の向上の視点も引き続き盛り込む必要があります。そのため、本計画の基本目標を「生きがいや幸せが実感できる健康寿命の延伸」とし、計画を推進します。

生きがいや幸せが実感できる 健康寿命の延伸

「生きがいや幸せが実感できる健康寿命の延伸」のイメージ図



2 計画の体系

基本理念である「生きがいや幸せが実感できる健康寿命の延伸」を実現するため、「脳卒中・糖尿病の発症予防と重症化予防の推進」「がん対策の推進」、健康で生きがいを持った生活ができるように「心の健康づくりの推進」、65歳における平均自立期間を延ばすための「介護予防の推進」、「健康コミュニティづくりの推進」に、新規に「子育て支援の推進」を盛り込み6つの重点目標として子どもから高齢者までのライフステージに添った取り組みを行います。目標達成のための基本施策として、健康づくりの実践の7つの分野を5つのライフステージに分けて、課題に取り組んでいくとともに、地区別の課題や特性を踏まえた取り組みも行います。これらの取り組みを推進し、目標を達成するための条件として、安心できる保健・医療・福祉体制を構築していきます。

